

はじめに

宇宙食というと何をイメージするでしょうか。菌磨きのようなチューブに入ったものでしょうか。それとも菓のような錠剤でしょうか。

今でも、宇宙食と聞くとこのようなものをイメージする人が多いでしょう。その理由は、初期の宇宙食がこのような形態だったからです。そのイメージが強すぎて、今でも宇宙食というところのようなものをイメージする人が多いのです。実は、違います。“ほとんど”地上と同じ食事を楽しんでいます。“ほとんど”といったのは、それでも宇宙での食事は地上とかなり違うところがあるからです。本書を読めば、その違いがわかります。

日本人の宇宙飛行士も、引退した毛利さん、土井さん、山崎さんを含めると12人に上っています。そこで日本人宇宙飛行士のために、宇宙日本食が開発されました。皆さんも海外旅行をすると日本食が恋しくなりますよね。宇宙で活動する飛行士でも同じです。そこで、故郷の味を届けようというものです。宇宙日本食の開発から10年がたちました。その開発の歴史は、日本ならではの特徴があります。その苦労の歴史も紹介したいと思います。

未来の宇宙食にもふれました。本書を読めば、貴方も宇宙食のエキスパートになれること間違いなしです。